MEIJO Q&A

理工学部　社会基盤デザイン工学科

Q　みんなが幸せになれる自動運転都市をつくるには？

一部の人間だけでなく、社会全体が幸せになれるような交通計画でまちづくりを考えていくことが大切。

都市の交通計画は、「人々が暮らしやすいまちづくり」の重要な要素のひとつ。

暮らしやすいまちづくりを考える際、都市の交通計画や交通手段の整備は非常に重要なファクターのひとつです。そこで研究室では、交通をテーマに人と環境にやさしいまちづくりについて検討しています。たとえば近年、高齢者による自動車のアクセルとブレーキの踏み間違い事故などが話題になっていますが、この背景には「高齢者が自動車を運転せざるを得ない都市設計である」という問題が潜んでいます。もちろん自動車に踏み間違いを防ぐ機能をつけることも大切ですが、たとえばコミュニティバスを運行させるなどして、高齢者が自動車に乗らなくても暮らせる都市設計をしていくことが重要です。

自動運転など、新たな交通事情を取り入れたこれからの交通都市計画を考える。

都市計画では、時代にあわせた新しいまちづくりを検討していくことも非常に重要。たとえば近年開発が進む自動運転技術。まだ実現には時間がかかると思いますが、実現した自動運転技術が都市の交通事情を大きく変えることになるのは想像に難くありません。このとき大切なのは自動運転技術を搭載した車の利用者だけでなく、都市全体、社会全体が利益を享受できるような仕組みを考えていくこと。研究室では、たとえば道路ネットワーク全体で総移動時間が最小になるように自動運転を制御する手法を開発するなど、みんなが幸せになれるような、未来の自動運転都市実現に向けての検討をはじめています。

TEACHER'S PROFILE

松本 幸正 先生
Matsumoto Yukimasa

「人々の暮らしを支える、大きな仕事に関わりたい」との思いからインフラ整備などをイメージして土木の道に進みました。その中で都市計画や設計という分野に出会い、交通について分析して、都市設計に活かしていくという現在のテーマへと傾倒していきました。

マイブーム紹介

自ら焙煎した珈琲豆で、リフレッシュ。

かねてからコーヒーが好きでお気に入りの豆などを探して味の違いを楽しんでいたのですが、ステイホームでおうち時間が増えたのを期に、焙煎も自分でするように。自分好みに浅煎りした珈琲豆で入れた一杯は格別です。